

秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科
博士後期課程

学生募集要項

令和 8 年 4 月入学者選抜（令和 7 年 8 月実施試験・令和 8 年 2 月実施試験）
令和 7 年10月入学者選抜（令和 7 年 8 月実施試験）

令和 7 年 5 月



秋田県立大学大学院システム科学研究科 博士後期課程

◎令和8年度4月入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

総合システム科学専攻【入学定員8名】		
選 抜 区 分	令和7年8月 実 施 試 験	令和8年2月 実 施 試 験
	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
募 集 人 員	8名程度	若干名
入 学 資 格 審 査 申 請 期 間	令和7年6月16日（月）～ 6月20日（金） 午後5時必着	令和7年11月25日（火）～ 12月1日（月） 午後5時必着
出 願 期 間	令和7年7月22日（火）～ 7月29日（火） 午後5時必着	令和8年1月26日（月）～ 2月2日（月） 午後5時必着
試 験 期 日	令和7年8月19日（火）	令和8年2月28日（土）
合 格 者 発 表	令和7年9月2日（火） 午後1時予定	令和8年3月6日（金） 午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和7年9月12日（金） 午後5時必着	令和8年3月13日（金） 午後5時必着

◎令和7年度10月入学者選抜試験

入学定員・募集人員・入学試験関係日程

総合システム科学専攻【入学定員8名】	
選 抜 区 分	令和7年8月 実 施 試 験
	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
募 集 人 員	若干名
入 学 資 格 審 査 申 請 期 間	令和7年6月16日（月）～ 6月20日（金）午後5時必着
出 願 期 間	令和7年7月22日（火）～ 7月29日（火）午後5時必着
試 験 期 日	令和7年8月19日（火）
合 格 者 発 表	令和7年9月2日（火）午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和7年9月12日（金）午後5時必着

※ 試験日程等が変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

目 次

※令和 8 年 4 月入学者選抜（令和 7 年 8 月実施試験、令和 8 年 2 月実施試験）を志願する場合はⅢを、
令和 7 年10月入学者選抜（令和 7 年 8 月実施試験）を志願する場合はⅣを参照してください。

I	秋田県立大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等	1
II	システム科学技術研究科	2
1	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
2	入学者選抜の基本方針	2
3	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	2
4	修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	2
III	令和 8 年 4 月入学者選抜 （一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜）	
1	募集する専攻および募集人員	3
2	出願資格	3
3	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	4
4	出願期間および出願方法等	5
5	選抜方法等	8
6	合格者発表	9
7	入学手続、初年度納付金等	9
IV	令和 7 年10月入学者選抜 （一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜）	
1	募集する専攻および募集人員	12
2	出願資格	12
3	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	13
4	出願期間および出願方法等	13
5	選抜方法等	17
6	合格者発表	17
7	入学手続、初年度納付金等	18
V	共 通 事 項	
1	入学試験成績の開示	20
2	個人情報の取扱いについて	20
	試験場案内	20
	秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内	21

I 秋田県立大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

【博士後期課程】

博士前期課程の基礎に立って、広い視野と明確な問題意識をもって先端的かつ高度な研究に取り組み、本学研究科博士後期課程の修了認定・学位授与の方針に示された高度技術研究者を目指す人材を受け入れる。

上記に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

- ・専門分野での高度な知識および博士前期課程相当の研究開発力をもち、独創的な研究に取り組もうとする人
- ・複数の分野を統合する幅広い視野をもって、現代社会が直面する諸問題を発見し、解決できる能力を身につけることを目指す人
- ・グローバルな視野をもって、社会的・経済的価値を先導的に創出する力を身につけ、発展的な未来を切り開くことを目指す人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学研究科では、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【博士後期課程】

高度技術研究者として必要な幅広い視野、企画力、マネジメント能力、討論力等を修得するための教育プログラムを展開し、高次の研究指導を行う。

- (1) 極めて高度な専門知識・技術と研究開発を遂行する能力を身につけるため、特論や演習等の科目を配列する
- (2) 優れたコミュニケーション能力と情報発信力を涵養するための科目を配列する
- (3) 研究指導の過程では、指導教員等研究者との議論、国内外での研究発表等の諸活動を通して、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める資質・能力を総合的に身につけ、自立した高度技術研究者としてグローバルな視野をもって活躍できる能力を育成する教育を行う
- (4) 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいて、成績評価および博士学位論文審査を行う

● 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学研究科は、以下の能力を身につけ、修了に必要な単位を修得し、学位論文審査ならびに最終試験に合格した学生に学位を授与する。

【博士後期課程】

博士前期課程の基礎に立って、高度技術研究者として現代社会が直面する諸問題を解決し、発展的な未来を切り開くことを目指して、下記の知識・能力を身につけ、各研究科・専攻ごとに定める所定の単位を修得し、かつ、博士の学位論文審査ならびに最終試験に合格した学生に対して修了を認定し、博士の学位を授与する。

- (1) 各研究科・専攻の専門分野に応じた極めて高度な専門知識
- (2) 各研究科・専攻の専門分野について、自立した研究者として高い倫理観をもって研究開発を遂行する能力
- (3) 専門性の極めて高い分野で、グローバルに活躍するための優れたコミュニケーション能力と情報発信力
- (4) 極めて高度な専門知識や研究開発能力を基に、複数の分野を俯瞰する広い視野をもって、自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力
- (5) 極めて高度な専門知識と研究開発能力を統合し、新しい社会的・経済的価値を先導的に創出する力

Ⅱ システム科学技術研究科

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〈博士後期課程〉

複数の分野を統合する広い視野と明確な問題意識をもち、高度技術研究者を目指す人材を受け入れる。
上記に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

総合システム科学専攻	・前期課程での研究実績とともに、複数の分野を統合する高い立場から広い視野で物事を分析する能力と、問題解決に向けた明確な目標を有する人
------------	--

2 入学者選抜の基本方針

〈博士後期課程〉

一 般 選 抜	書類審査と面接で博士前期課程等における研究実績について評価し、面接では専門知識、幅広い視野で物事を分析する能力および問題解決能力を評価する。
社 会 人 特 別 選 抜	書類審査と面接で受験時までの社会人としての研究実績について評価し、面接では専門知識、幅広い視野で物事を分析する能力および問題解決能力を評価する。
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	書類審査と面接で受験時までの研究実績について評価し、面接では専門知識、幅広い視野で物事を分析する能力および問題解決能力を評価するとともに本学で研究と学修するための日本語または英語等の能力も確認する。

3 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

〈博士後期課程〉

開発技術の実践に直接役立つ授業科目を設ける。また、博士前期課程の教育科目における各専攻の領域を超えて融合し、機構・デバイス系、情報・知能系、社会・環境系の各分野で再構築した講義を展開する。

専攻では、次のような人材育成のための特色ある科目を開講する。

総合システム科学専攻	・「共通基盤科目」では、開発技術の実践に直接役立つ授業科目を設ける。また、「学際専門科目」では、博士前期課程の教育科目における各専攻の領域を超えて融合し、機構・デバイス系、情報・知能系、社会・環境系の各分野で再構築した講義を展開する。
------------	---

4 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

〈博士後期課程〉

高度技術研究者として、前期課程の基礎に立って研究開発能力を高め、複数の分野を俯瞰して広い視野で物事を分析し、問題の提起と解決を行う能力を身につけ、修了に必要な単位を修得した学生に博士の学位を授与する。

専攻を通じ、修得すべき能力は以下のとおりである。

総合システム科学専攻	・新しい要素技術の開発と広い視野から異なる技術分野を統合した新しい技術分野の開拓に貢献し、極めて広い分野に関わる大きな問題に対して指導的な立場から問題解決に貢献できる能力
------------	---

Ⅲ 令和 8 年 4 月入学者選抜

(一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜)

1 募集する専攻および募集人員

入学定員および 選抜区分 専攻名	入学 定員	募 集 人 員	
		令和 7 年 8 月 実 施 試 験	令和 8 年 2 月 実 施 試 験
		一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜	一 般 選 抜 社 会 人 特 別 選 抜 外国人・帰国子女特別選抜
総合システム科学専攻	8	8 名 程 度	若 干 名

2 出 願 資 格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

技術者・教員・研究者として 2 年以上の勤務経験を有する者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生および外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者および令和 8 年 3 月までに取得見込みの者
- ② 外国の大学の大学院において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者および令和 8 年 3 月までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者および令和 8 年 3 月までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者および令和 8 年 3 月までに取得見込みの者
- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- ⑥ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- ⑦ その他修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、令和 8 年 4 月 1 日までに 24 歳に達する者

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑤～⑦により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記 ii) の各書類を後記「出願書類の提出先」まで郵送してください。書類の提出は、入学資格審査申請期間最終日の午後 5 時必着とし、「入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。(日本国外から申請する場合は、個別に後記「出願書類の提出先」まで問い合わせてください。)

i) 入学資格審査申請期間

令和 7 年 8 月実施試験	令和 7 年 6 月 16 日 (月) から 6 月 20 日 (金) 午後 5 時必着
令和 8 年 2 月実施試験	令和 7 年 11 月 25 日 (火) から 12 月 1 日 (月) 午後 5 時必着

ii) 入学資格審査に必要な書類

書 類 名	摘 要
入 学 資 格 審 査 申 請 書	様式は本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入し、提出してください。
履 歴 書	様式は任意とします。
研 究 業 績 書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返 送 用 封 筒 (入学資格審査結果送付用)	長形 3 号の封筒に、郵便番号、住所および氏名を明記し、110円切手を貼付してください。

- ② 入学資格審査の結果は、次の期日までに本人あてに通知します。

令和 7 年 8 月実施試験	令和 7 年 7 月 15 日 (火)
令和 8 年 2 月実施試験	令和 8 年 1 月 19 日 (月)

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談してください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに前記「出願書類の提出先」へ提出してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に本学から連絡することがあります。また、事前相談で希望する配慮が必ずしも提供されるとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合も、速やかに相談してください。

なお、事前相談したことにより、本学への出願が義務づけられるものではありません。

令和 7 年 8 月実施試験	令和 7 年 6 月 20 日 (金) 午後 5 時まで
令和 8 年 2 月実施試験	令和 7 年 11 月 28 日 (金) 午後 5 時まで

4 出願期間および出願方法等

本選抜に出願する者は、入学後の研究指導の可否について、指導を希望する教員に事前に確認する必要があります。本学在学者は出願までに、学外から出願する者は以下の期限までに確認してください。

令和7年8月実施試験	令和7年7月11日（金）午後5時まで
令和8年2月実施試験	令和8年1月9日（金）午後5時まで

※ 詳細については7ページの「(6) 出願上の注意事項_①」を確認してください。

(1) 出願期間

令和7年8月実施試験	令和7年7月22日（火）午前9時から7月29日（火）午後5時必着
令和8年2月実施試験	令和8年1月26日（月）午前9時から2月2日（月）午後5時必着

※ 受験を目的とした「短期滞在」ビザ取得のため、本学が定める出願期間前に出願を証明する書類が必要となる場合は、以下の期限までにメールにて申し出てください。

・ 申出期限

令和7年8月実施試験	令和7年6月16日（月）午後5時まで
令和8年2月実施試験	令和7年11月25日（火）午後5時まで

・ 申出先

秋田県立大学アドミッションチーム

メールアドレス nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には郵送または持参による提出が必要な書類（後記「出願書類」）があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします（土・日を除く。）。

(3) 入学検定料

30,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

ただし、本学システム科学技術研究科博士前期課程を修了した者または修了見込みの者が、同研究科博士後期課程に出願する場合は、入学検定料が免除となります。この場合、インターネット出願ページでの登録方法について説明がありますので、出願手続前に後記「出願書類の提出先」まで連絡してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の金額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城下野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

※ 本学システム科学技術研究科在籍者に限り、本荘キャンパス事務局への持参による提出も受け付けます。

(5) 出願書類

各選抜区分欄に○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。

番 号	書 類 名	摘 要	選抜区分		
			一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して提出してください。	○	○	○
2	志望理由書	本学所定の用紙に志望理由を記入し、提出してください。	○	○	○
3	業績レポート	一般選抜もしくは外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格⑤～⑦のいずれかに該当する者または社会人特別選抜に出願する者は本学所定の用紙に業績を記入し、提出してください。	△	○	△
4	推薦書	本学所定の用紙に、出身もしくは在籍する機関等の教員または所属長が記入したものを提出してください。	○	○	○
5	研究計画書	本学所定の用紙に研究計画を記入してください。	○	○	○
6	修了（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	①出身もしくは在籍する大学院または大学改革支援・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ②大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○	○	○
7	大学院の成績証明書	出身または在籍する大学院が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○
8	修士論文またはこれまでの研究の要旨	修士論文の要旨またはこれまでの研究の要旨（2,000字程度）を提出してください。	○	○	○

（次ページへ続く）

番 号	書 類 名	摘 要	選抜区分		
			一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
9	住民票の写しまたはパスポート	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前3か月以内に発行されたもの、コピー不可）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△
10	受験承諾書	企業等に在籍のまま本学に入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします。）。	△	△	△
11	指導を希望する教員との連絡記録	入学後の研究指導を希望する教員と連絡をとったことを示す記録（手紙、Eメール等の写し）を提出してください。	△*	○	○
12	安全保障輸出管理に関する誓約書	本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認の上、記名押印またはサインをし、提出してください。	○	○	○
13	その他本学が指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。	△	△	△

注）各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願書類の提出先」まで問い合わせてください。

* 本学の大学院生以外の者は、提出が必要です。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、21ページの「秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内」を参照の上、指導を希望する教員に入学後の研究指導の可否について必ず問い合わせてください。指導を希望する教員の連絡先がわからない場合には、前記「出願書類の提出先」に連絡してください。
- ② 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ④ 受験票は、出願書類受理後にインターネット出願ページにてダウンロードできるようになりますので印刷してください。令和7年8月実施試験は、令和7年8月5日（火）午前9時から、令和8年2月実施試験は、令和8年2月13日（金）午前9時からダウンロード可能となります。
- ⑤ 外国から本学受験のために来日する者は、日本国への入国に必要なビザの取得に時間を要する場合がありますので、受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑥ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定めています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
ア 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	30,000円
イ 入学検定料を誤って二重に納付した場合	30,000円
ウ 入学検定料が免除となる者が、誤って納付した場合	30,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

送付期限：令和8年2月20日（金）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

令和7年8月実施試験	令和7年8月19日（火）
令和8年2月実施試験	令和8年2月28日（土）

(2) 選抜方法

選抜方法は次のとおりです。

選 抜 区 分	選 抜 方 法
一 般 選 抜	書類審査、面接の結果を総合して判定します。 ※面接にはプレゼンテーション（30分程度）が含まれます。
社 会 人 特 別 選 抜	
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	

(3) 試験時間割

【令和7年8月実施試験、令和8年2月実施試験共通】

選 抜 区 分	試 験 時 間 割
一 般 選 抜	面 接 午後5時～ ※出願の状況によって変更となる場合があります。
社 会 人 特 別 選 抜	
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	

(4) 試験会場

本荘キャンパス（由利本荘市）

(5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、面接開始30分前までに、指定された面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑤ 面接を受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑥ 試験時間中に使用を認められた以外の電子機器類を使用すると不正行為となります。身につけているだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑦ 本学と大学・学部間交流協定を結んでいる大学から推薦を受けて外国人・帰国子女特別選抜の区分で受験する者について、本学が必要と認める場合には、試験期日および試験会場を変更する場合があります。
- ⑧ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表期日

令和7年8月実施試験	令和7年9月2日（火）午後1時予定
令和8年2月実施試験	令和8年3月6日（金）午後1時予定

- (2) 発表方法 本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期限

令和7年8月実施試験	令和7年9月12日（金）午後5時必着
令和8年2月実施試験	令和8年3月13日（金）午後5時必着

- ② 入学手続方法 入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

ア 金 額	秋田県内の者	282,000円
	上記以外の者	423,000円

注1) 「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

- 注2) 本学システム科学技術研究科博士前期課程を修了し、同研究科博士後期課程に入学する場合、入学科が免除となります。
- イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。
なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学科は返還しません。

② 授業料

- ア 金額 年額 535,800円
- イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情や不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

② 奨学金

- ア 日本学生支援機構が貸与する奨学金についての詳細は、同機構のホームページを参照してください。
- イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 特別早期修了制度について

既に一定の研究実績や能力を有する社会人を対象に、入学後に本研究科が定める修了要件を満たすことで、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年（3年未満）で修了し、課程博士の学位を取得できる制度です。

以下のすべてに該当する者が申請できます。

- ア 社会人特別選抜（2月実施試験）の出願資格を有し、同選抜試験に出願予定であること。
- イ 入学時前に、入学後の研究課題に関連した学位取得条件である以下の業績を有する者であること。原則として原著論文の発表が3件以上あり、うち1件以上はトップオーサーであること。また、3件のうち1件はその分野で評価されている専門誌への投稿であること。

制度の適用を希望する場合は、入学資格審査申請期間内に所定の様式により申請し、審査を受けてください。詳細については、後記「出願、受験、その他の問い合わせ先」まで問い合わせてください。

⑤ 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、学生が職業を有していたり、育児・介護に従事したりしている等の個人の事情に応じて、在学年限（博士前期課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えて計画的に教育課程を履修・修了することを認め、学位を取得できる制度です。

以下に該当する者が対象となります。

- ア 職業を有している者
- イ 育児・介護に従事している者
- ウ その他長期履修が必要となる相当の理由がある者

修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。

申請方法については、後記「出願、受験、その他の問い合わせ先」まで問い合わせてください。

⑥ 後援会について

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座、インターンシップへの助成および様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は3年間で30,000円です。なお、合格通知書に後援会の入会案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、大学手続と併せ、入会の手続をお願いします。

Ⅳ 令和 7 年10月入学者選抜

(一般選抜、社会人特別選抜、外国人・帰国子女特別選抜)

1 募集する専攻および募集人員

専攻名	選抜区分
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人・帰国子女特別選抜
総合システム科学専攻	若干名

2 出願資格

(1) 出願資格

【一般選抜】

以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【社会人特別選抜】

技術者・教員・研究者として2年以上の勤務経験を有する者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

【外国人・帰国子女特別選抜】

外国人留学生および外国の大学において学校教育を受けた者で、以下の出願資格①～⑦のいずれかに該当する者が出願できます。

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者および令和7年9月までに取得見込みの者
- ② 外国の大学の大学院において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者および令和7年9月までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者および令和7年9月までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者および令和7年9月までに取得見込みの者
- ⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- ⑥ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者
- ⑦ その他修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、令和7年10月1日までに24歳に達する者

(2) 入学資格審査

- ① 出願資格⑤～⑦により出願を希望する者については、入学資格審査を行います。

入学資格審査を受けるにあたっては、次の期間内に申請が必要となりますので、下記 ii) の各書類を後記「出願書類の提出先」まで郵送してください。書類の提出は、入学資格審査申請期間最終日の午後 5 時必着とし、「入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。(日本国外から申請する場合は、個別に後記「出願書類の提出先」まで問い合わせてください。)

i) 入学資格審査申請期間

令和 7 年 6 月 16 日(月) から 6 月 20 日(金) 午後 5 時必着

ii) 入学資格審査に必要な書類

書 類 名	摘 要
入学資格審査申請書	様式は本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入し、提出してください。
履歴書	様式は任意とします。
研究業績書	様式は任意とし、論文要旨、論文発表業績または研究業績のいずれかを提出してください。
返送用封筒(入学資格審査結果送付用)	長形 3 号の封筒に、郵便番号、住所および氏名を明記し、110 円分の切手を貼付してください。

- ② 入学資格審査の結果は、令和 7 年 7 月 15 日(火) までに本人あてに通知します。

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害(学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害の程度)や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談してください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに前記「出願書類の提出先」へ提出してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者に本学から連絡することがあります。また、事前相談で希望する配慮が必ずしも提供されとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合も、速やかに相談してください。

なお、事前相談したことにより、本学への出願が義務づけられるものではありません。

令和 7 年 8 月実施試験

令和 7 年 6 月 20 日(金) 午後 5 時まで

4 出願期間および出願方法等

本選抜に出願する者は、入学後の研究指導の可否について、指導を希望する教員に事前に確認する必要があります。本学在学者は出願までに、学外から出願する者は以下の期限までに確認してください。

期限：令和 7 年 7 月 11 日(金) 午後 5 時まで

※ 詳細については 16 ページの「(6) 出願上の注意事項 ①」を確認してください。

(1) 出願期間

令和7年7月22日（火）午前9時から7月29日（火）午後5時必着

※ 受験を目的とした「短期滞在」ビザ取得のため、本学が定める出願期間前に出願を証明する書類が必要となる場合は、以下の期限までにメールにて申し出てください。

- ・ 申出期限 令和7年6月16日（月）午後5時まで
- ・ 申出先 秋田県立大学アドミッションチーム
メールアドレス nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み、出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には郵送または持参による提出が必要な書類（後記「出願書類」）があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします（土・日を除く。）。

(3) 入学検定料

30,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

ただし、本学システム科学研究科博士前期課程を修了した者または修了見込みの者が、同研究科博士後期課程に出願する場合は、入学検定料が免除となります。この場合、インターネット出願ページでの登録方法について説明がありますので、出願手続前に後記「出願書類の提出先」まで連絡してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の金額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

※ 本学システム科学研究科在籍者に限り、本荘キャンパス事務局への持参による提出も受け付けます。

(5) 出願書類

各選抜区分欄に○印を付した書類を原則としてすべて提出してください。△印を付した書類は該当者のみ提出してください。

番号	書類名	摘 要	選抜区分		
			一般選抜	社会人特別選抜	外国人・帰国子女特別選抜
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して提出してください。	○	○	○

（次ページへ続く）

番 号	書 類 名	摘 要	選抜区分		
			一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜
2	志望理由書	本学所定の用紙に志望理由を記入し、提出してください。	○	○	○
3	業績レポート	一般選抜もしくは外国人・帰国子女特別選抜に出願する者で出願資格⑤～⑦のいずれかに該当する者、または社会人特別選抜に出願する者は本学所定の用紙に業績を記入し、提出してください。	△	○	△
4	推薦書	本学所定の用紙に、出身もしくは在籍している機関等の教員または所属長が記入したものを提出してください。	○	○	○
5	研究計画書	本学所定の用紙に研究計画を記入し、提出してください。	○	○	○
6	修了（見込）証明書または学位授与（申請受理）証明書	①出身もしくは在籍している大学院または大学改革支援・学位授与機構が発行する証明書を提出してください。 ②大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請中の場合は、同機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出してください。	○	○	○
7	大学院の成績証明書	出身または在籍している大学院が発行する成績証明書を厳封して提出してください。	○	○	○
8	修士論文またはこれまでの研究の要旨	修士論文の要旨またはこれまでの研究の要旨（2,000字程度）を提出してください。	○	○	○
9	住民票の写しまたはパスポート	日本に住所を有する外国籍の者は、住民票の写し（出願前3か月以内に発行されたもの、コピー不可）を提出してください。受験のために来日する外国籍の者は、パスポートの写しを提出してください。	△	△	△
10	受験承諾書	企業等に在籍のまま本学に入学を希望する者は、企業等の所属長が作成した受験承諾書を提出してください（様式は任意とします。）。	△	△	△
11	指導を希望する教員との連絡記録	入学後の研究指導を希望する教員と連絡をとったことを示す記録（手紙、Eメール等の写し）を提出してください。	△*	○	○
12	安全保障輸出管理に関する誓約書	本学ホームページに掲載の「安全保障輸出管理に関する誓約書」の内容を確認の上、記名押印またはサインをし、提出してください。	○	○	○
13	その他本学が指定する書類	入学資格審査の結果、必要と認められる書類について連絡があった場合提出してください。	△	△	△

注）各種証明書等の中で提出が困難な書類の取扱いについては、出願までに前記「出願書類の提出先」まで問い合わせてください。

* 本学の大学院生以外の者は、提出が必要です。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願にあたっては、21ページの「秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内」を参照の上、指導を希望する教員に必ず入学後の研究指導の可否について問い合わせてください。指導を希望する教員の連絡先がわからない場合には、前記「出願書類の提出先」に連絡してください。
- ② 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ④ 受験票は、出願書類受理後令和7年8月5日（火）午前9時からインターネット出願ページにてダウンロードできるようになりますので印刷してください。
- ⑤ 外国から本学受験のために来日する者は、日本国への入国に必要なビザの取得に時間を要する場合がありますので、受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑥ 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「秋田県立大学安全保障輸出管理規程」を定めています。規制事項に該当する場合は、希望する教育や研究が受けられない場合がありますので、注意してください。
- ⑦ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
ア 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	30,000円
イ 入学検定料を誤って二重に納付した場合	30,000円
ウ 入学検定料が免除となる者が、誤って納付した場合	30,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

送付期限：令和8年2月20日（金）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法等

(1) 試験期日

令和7年8月19日（火）

(2) 選抜方法

選抜方法は次のとおりです。

選 抜 区 分	選 抜 方 法
一 般 選 抜	書類審査、面接の結果を総合して判定します。 ※面接にはプレゼンテーション（30分程度）が含まれます。
社 会 人 特 別 選 抜	
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	

(3) 試験時間割

選 抜 区 分	試 験 時 間 割
一 般 選 抜	面 接 午後5時～ ※出願の状況によって変更となる場合があります。
社 会 人 特 別 選 抜	
外 国 人 ・ 帰 国 子 女 特 別 選 抜	

(4) 試験会場

本荘キャンパス（由利本荘市）

(5) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、面接開始30分前までに、指定された面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑤ 面接を受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑥ 試験時間中に使用を認められた以外の電子機器類を使用すると不正行為となります。身につけているだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑦ 本学と大学・学部間交流協定を結んでいる大学から推薦を受けて外国人・帰国子女特別選抜の区分で受験する者について、本学が必要と認める場合には、試験期日および試験会場を変更する場合があります。
- ⑧ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表期日 令和7年9月2日（火） 午後1時予定

(2) 発表方法 本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

- ① 入学手続期限 令和7年9月12日（金）午後5時必着
- ② 入学手続方法 入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金等

① 入 学 料

- ア 金 額 秋田県内の者 282,000円
上記以外の者 423,000円

注1) 「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

注2) 本学システム科学技術研究科博士前期課程を修了し、同研究科博士後期課程に入学する場合、入学料が免除となります。

- イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従い、入学手続の際に納付してください。
なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付した入学料は返還しません。

② 授 業 料

- ア 金 額 年額 535,800円

- イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) そ の 他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情や不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

② 奨 学 金

- ア 日本学生支援機構が貸与する奨学金についての詳細は、同機構のホームページを参照してください。

- イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する特待生制度があります。

④ 長期履修学生制度について

長期履修学生制度とは、学生が職業を有していたり、育児・介護に従事したりしている等の個人の事情に応じて、在学年限（博士前期課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えて計画的に教育課程を履修・修了することを認め、学位を取得できる制度です。

以下に該当する者が対象となります。

- ア 職業を有している者

イ 育児・介護に従事している者

ウ その他長期履修が必要となる相当の理由がある者

修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。

申請方法については、後記「出願、受験、その他の問い合わせ先」まで問い合わせてください。

⑤ 後援会について

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、大学主催の各種就職対策講座、インターンシップへの助成および様々な資格取得への助成等を行っています。

後援会費は3年間で30,000円です。なお、合格通知書に後援会の入会案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、大学手続と併せ、入会の手続をお願いします。

V 共通事項

1 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、本人に限って、口頭による簡易開示請求により、その場で閲覧することができます。ただし、合格者が10名に満たない専攻については不合格者のみの開示となるので注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず印刷した受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に出向くことができない場合には、開示期間中に⑤に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

② 開示する情報

得点

③ 開示する期間

合格者発表の日から2週間（土・日・祝日を除く）※受付時間：午前9時～午後5時

④ 開示場所

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局

⑤ 問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）
T E L 018-872-1535

2 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ・入学者選抜
- ・合格者発表
- ・入学手続
- ・次年度以降の学生募集

② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

③ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。

- ・教務関係業務（学籍管理、学修指導等）
- ・学生支援関係業務（奨学金申請等）
- ・授業料徴収業務

④ 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

試験場案内

【本荘キャンパス（システム科学技術学部・研究科）】

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180

- ・秋田空港から車で約50分
- ・秋田駅から羽後本荘駅まで JR で約45分
- ・羽後本荘駅から車で約10分
- ・羽後本荘駅から徒歩で約30分

秋田県立大学大学院システム科学技術研究科の案内

1 博士前期課程の概要

博士前期課程「総合システム工学専攻」・「共同サステナブル工学専攻」は、次のコース・研究分野で構成されています。

総合システム工学専攻

①機械工学コース

システムデザイン工学、スマートプロセス工学、エネルギー環境工学

②知能メカトロニクスコース

先進ロボットシステム、材料物性・デバイス工学、電気電子応用工学

③情報工学コース

情報システム創成学、実世界情報学

④建築学コース

構造学、材料学、環境学、計画学

⑤経営システム工学コース

戦略プランニング、数理アナリシス、持続可能マネジメント

共同サステナブル工学専攻

①エレクトロモビリティコース

②社会環境システムコース

2 博士後期課程の概要

博士後期課程「総合システム科学専攻」は、次の系・研究分野で構成されています。

総合システム科学専攻

①機構・デバイス系

システムデザイン工学、材料物性・デバイス工学、構造学、材料学、持続可能マネジメントの一部

②情報・知能系

スマートプロセス工学、情報システム創成学、実世界情報学、構造学、材料学、環境学、計画学、数理アナリシス、戦略プランニング

③社会・環境系

エネルギー環境工学、先進ロボットシステム、電気電子応用工学、計画学、環境学、持続可能マネジメントの一部、戦略プランニングの一部

3 指導教員と研究テーマ

指導教員と研究テーマの一覧は次のURLから確認することができます。

(右記のQRコードからアクセスできます。)

指導教員と研究テーマ一覧

<https://www.akita-pu.ac.jp/gakubu/grad-sys/6803>



出願、受験、その他の問い合わせ先

システム科学技術研究科

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

(右記のQRコードからアクセスできます。)



◎メールアドレス

nyushi-apu@akita-pu.ac.jp